
第 415 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2023 年 8 月 18 日(金) 17 時 30 分~18 時 30 分

場 所: 創立 30 年記念棟 3 階大会議室(常念岳)

演 者: 城下 智 氏

(国保依田窪病院副院長・信州大学医学部健康推進学講座特任教授)

内科医の立場から臨床研究と基礎研究の面白さを歯学部
先生や大学院生と共有する

～ウイルス性肝炎と免疫制御型好酸球の観点から～

本邦における肝硬変や肝がんの成因は、約 7 割がウイルス性肝炎(HCV、HBV)に起因するものである。HCV、HBV は、血液・体液を介して感染するため、歯科診療の際にも注意を要する場面がある。また、HCV や HBV が持続感染すると自覚症状のないままに肝硬変や肝がんに行進し得るため、感染の早期発見と早期治療が重要である。医療の現場では、ウイルス性肝炎の検査を施行する機会はたくさんあり、医師・歯科医師は検査の結果について、陰性・陽性にかかわらず説明する義務を負っている。さらに、治療薬が進歩したことなどから、本邦は肝炎撲滅を目指すステージにあると考えられている。本セミナーでは、臨床医の観点から、現在推進中の肝炎撲滅プロジェクトとウイルス性肝炎の現状、および、歯科医師が注意すべき点などを併せてお話しする。また、臨床研究の過程で経験した基礎研究について、自らが明らかにした免疫制御型好酸球に触れながら、基礎研究の面白さも共有したいと思う。

Matsumoto Dental University
Graduate School of Oral Medicine

1780 Gobara, Hirooka, Shiojiri,
Nagano 399-0781, Japan

プロフィール

平成 14 年 3 月 25 日 新潟大学医学部医学科卒業
平成 22 年 3 月 31 日 信州大学大学院医学系研究科修了
平成 23 年 10 月 1 日 信州大学医学部附属病院助教(診療)(消化器内科)
平成 24 年 10 月 1 日 米国ワシントン大学セントルイス 免疫学

Prof. Marco Colonna 教室 博士研究員

平成 27 年 11 月 1 日 信州大学医学部附属病院助教(消化器内科)
平成 29 年 4 月 1 日 信州大学医学部内科学第二教室 講師(学部)
令和 3 年1月 1 日 信州大学医学部内科学第二教室 准教授

平成 21 年 信州医学会賞
平成 21 年 日本肝臓学会若手奨励賞
平成 21 年 日本肝臓学会 Young Investigator Travel Award
平成 22 年 Young Investigator the Bursaries of EASL
平成 28 年 日本消化器病学会 Young Investigator Travel Award
平成 28 年 信州大学医学部松医会奨励賞
平成 29 年 APDW Federation / JGH Foundation Travel Grants
令和元年 新潟大学医学部有壬記念学術奨励賞
令和2年 日本人間ドック学会英文優秀論文賞
令和3年 日本組織適合性学会学術奨励賞優秀賞

平成 23 年 信州医学振興会、若手研究費
平成 24 年 文部科学省 科学研究費補助金 若手(B)(科研費)
平成 24 年 信州大学、若手研究費
平成 24 年 信州大学医学部附属病院、海外留学支援スカラーシップ
平成 28 年 文部科学省 科学研究費補助金 若手(B)(科研費)
平成 28 年 信州大学医学部附属病院、プロジェクト研究費
平成 29 年 信州医学振興会 研究助成
平成 30 年 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(C)(科研費)
平成 30 年 三井生命厚生財団 医学研究助成
平成 30 年 ウイルス肝炎研究財団研究助成事業
令和元年 アイバワークス医学研究者支援事業
令和2年 大樹生命厚生財団 特別研究助成